

第 3 号

# かたつむり21

4月現在会員数

個人： 74名  
法人： 2団体

2002年4月14日 発行

題字 杉野 雅子

## 1年を振り返って

4月です。桜フィーバーが終わるとタイガースフィーバー。今年、関西はちょっと騒がしくなりそうですね。

ところで「かたつむり21」が発足して早1年、手探り状態で取り組んできた活動は、皆様のお陰で定着しつつあります。会員数は設立当初の57名から77名と多くの方々の参加が得られました。

しかしながら、SGの活動拠点を安定した状態で維持・管理して行くにはまだまだ資金面で厳しい状況にあります。入会を呼びかけてください。

さて、2年目を迎えるに当たりこの1年間の動きを振り返ってみたいと思います。

### ○ 主要な活動状況

その主な活動は、SG35周年記念フォーラム（設立前の行事ですが）・オータムキャンプ・新年会・事務所物件の下見とその検討（詳しくは3面に掲載）。

運営面では、大勢の方に、参加・協力を求めるため、広報委員会・HP運営委員会を組織し、広報活動を行ってきた。また、SGへの後方支援は、SG夏季キャンプへの参加・新人募集の窓口・ボランティアグループ紹介の展示会（中央青年センターにて）への出展等無我夢中に取り組んだ1年だった。

とりわけ、SG35周年記念フォーラムの開催がSGのOBやOG・一般の方の賛同を得てSG後援会「かたつむり21」の設立を可能なものとした。さらに、秋には、会員相互の交流と意見交換と会員の拡大を図るため、第2回オータムキャンプを開催した。参加者は40数名と予想より少なかったが、下は2才から上は？才まで幅広い年齢層の参加の中で、一般の方々や元キャンパーの参加もあり、世代を超えた交流・意見交換が出来た。



### ○ 今後の課題

秋のキャンプを通じて、より多くの方々に私たちの活動、とりわけ、障害者の現状を自然を利用した楽しい雰囲気の中で、感じ取ってもらい、人的ネットワークの広がりにつなげたい。手軽に出来るキャンプ、誰でも参加できるキャンプとして、今後も継続の方向で考えたい。

最後に、「障害者の自立と社会参加」が言われてから久しくなります。しかしながら、障害者が自立するにはまだ様々な弊害があり、依然としてあまり進展していないのが現状です。まさに今、「かたつむり21」の会員の豊富な経験・人的ネットワーク、SG会員の行動力、そして大勢の方々の協力を結集し、障害者の自立に生かせるような行動を起こす時期に来ているのではないだろうか。

かたつむり21事務局

### SG後援会「かたつむり21」お問い合わせ

事務局：高槻市北大樋町15-1-214

（松木彰造方）

電話：0726-621-4625

Eメール：matsuki@lyra.vega.or.jp

## ～ 2002年新年会の報告です～

盛り盛り盛り上がった新年会です。1月27日（日曜日）午後からの開会でした。

SGとかたつむり21の合同新年会としては、参加者は26名と少し寂しい気がしましたが、自己紹介、ソング、そして手に汗握るビンゴゲーム（景品提供の原口さんには大変お世話になりました）等、楽しいひとときを過ごしました。始まりが2時過ぎ終わったのは5時半頃でした。なんと3時間半の大宴会、「スーパー百番」さんはえらい迷惑でしたでしょう。



でも、中間君がいたので……。そして、帰りには皆さん両手に紙袋を提げていました。不参加の方残念でした。

返信いただいた皆様方の「ちよつと一言」と「メール」の一部を紹介します。

【松井怜子さん】この度の新年会、都合が悪く参加かなわす残念です。悪しからずお許しください。黒川会長はじめ、白石、高山幹事様達、むかし美少年の皆様宜しく。新年会の盛り上がりをお祈りしております。

【白石大介・美恵子さん】目下胃ガンだ人生再建中。もっと元気になったら参加したいです。

【今井悦子さん】ガイドヘルパーさんと2回外出しました。80時間内で…どのような支援を頼み行動する

のか、QOLの実現のためにはホームヘルパーさんも必要ですので、何らかの方法を探さなければならないようです。

【大西聖治さん】病身の妻と子どもそして徳島の実家の母の様子を心配しながら、南松商店近くの済生会病院で働いています。中間さん達、同年代の人と話したいのですが…。

【馬崎 稔さん】昨年4月より、土曜日も仕事となり、何かと余裕のない生活をしています。余裕のできる心境になりましたら行事にも参加させていただきます。

【松井（岡本）加奈子さん】出席させてもらおうと思ってましたが、昨日から子供が熱を出して私も仕事を休んでいます。

【多田裕美子さん】あまり出席率が良くないので、今年は一歩参加して元気を分けてもらおうと思っています。

【宇賀神（菊田）亜希子さん】現在結婚して栃木にいます。お正月には帰省しますが、27日にはもう栃木へ帰っています。

【竹本（西川）裕子さん】新年会に、参加したいと思ったのですが、大阪は遠～いです。

その他の返事をいただいた方のお名前を紹介させていただきます。（順不同）

多田恭子さん 伊東成子さん 前東はぎ子さん

繁岡純子さん 楠十三子さん 黒岩克美さん

森脇久行さん 浅利宣之・日出子さん

岡村安敏さん 朝田裕之さん 森秀樹さん

安原美佐子さん 下出真輝治さん 岡恭子さん

柏尾美紀子さん 玉城伸子さん 鶴田浩史さん

辻野由美子さん 伊藤和加恵さん 久保田操さん

山崎大・未来さん

## 会員だより

### 子育て奮闘中

松井（岡本）加奈子



皆さん、ご無沙汰しております。オカモで～す！！ 私は高3の夏からキャンプに行き続けて、それぞれの夏を楽しく、また、時にはつらく、たくさんのことを勉強させてもらいました。夏が近づくと、「もう今年はやめとこ」とか思ってたのに、気がつくとホテル阪神のところでバタバタと動いて、歌うたってバカやって、みんなが笑ってくれるのがうれしくて・・・たくさんの人に出会って、たくさんのことを学ばせてもらった気がします。

今、やっと私も結婚できて、子供も授かりました。出産を終え、先天性股関節脱臼の後遺症が出て、今までのように動けなくなり、あらためて身体が自由に動けないということはどんな思いか・・・ほんの少しですがわかった気がします。キャンプに行かなくなった今でも、まだキャンプで出合った子供たちや、リーダーのみんなとの思い出が、自分を励ましてくれたり学ばせてくれたりしてる気がしています。

今年の5月で3歳になる息子と一緒に風呂に入って『ユメカシーラ』とか『やさしい花』とか『心のハンモック』とか『おっさん慢遊紀』とか歌ってます。息子が大きくなったら、また、キャンプに一緒に行きたいです。その時まで、まだまだ私の美しさを保たなければ。

キャンプは私の青春であり人生なのだ。かたつむり21バンザイ。

## 事務局開設に向けての取組み状況

### 一役員会からの報告一

SG活動の拠点となる事務局の確保は私たちの最重要使命であり、様々な物件をあたっております。本会の財務状況との兼ね合いで、未だ確定には至っておりませんが、現在、大阪市内のある社会福祉法人の運営する施設（大阪駅から徒歩10分程度の交通至便な場所にあります一写真参照）が了月に他の場所に移転し、当面その建物が使用されなくなるため、しばらくの間お借りする方向で調整しています。

当該法人のご厚意により、事務局としてなら自由にお使いくださいと言っていただいておりますが、私たちが利用できる期間が不安定なこと、施設全体が大きいこと、セキュリティとの関係で利用方法に制限があること等の課題があります。目下、こうした点について役員会で検討しながら、法人の責任者の方と意見交



換を行っております。

スムーズに調整が進めば、本年8月からの利用が可能ですが、本件は暫定的なものとなりますので、本格的な事務局確保のため、引き続き会員の皆さんからの情報提供をお待ちしております。



## サービスグループだより

委員長 中間 秀行

皆さん今日は。昨年の夏のキャンプ以来のおたよりとなりますので、昨年度の後半の行事をまず報告します。

- ・9月16日(日) キャンプの思い出会／大阪中央青年センター キャンパー：14名、リーダー：32名
- ・9月29日(土) ジュニアの秋の遠足／山城多賀フルーツライン 障害児：5名、リーダー：30名
- ・12月16日(日) クリスマス会in光陽会館／反省会&忘年会 障害児：20名、リーダー：30名
- ・3月17日(日) キャンプアフターケア・餅つき大会／鶴見緑地 キャンパー：15名、リーダー：35名

この間、キャンプを経験された新しいメンバーが委員会に出席するようになり、まだまだ、社会人中心の現状ですが、着々と次世代が育ちつつあります。

また、現状の悩みとして、肢体不自由児の子ども達に行事を案内する場合、養護学校の名簿を利用できず、過去のグループ活動の参加者を中心に呼びかけるため、正確に素早く参加者を決定できないとか、申し込み者からの問い合わせ先が安定していないなど、これからも解決すべきことがまだまだあります。

かたつむり21の皆様方の応援をよろしくお願い申し上げます。



### ちょっといわせてもらいまっせ

#### 『学校週5日制って?』

黒川芳朝(かたつむり21会長)

この4月から公立学校では毎週土曜日が休みになった。児童生徒のみならず、先生の休日が増える。「ゆとりある教育」が目的とされるが、実際は、民間企業の週休2日制を学校の先生にも、ということ。

だが、今日の学校には、いじめや学級崩壊、中途退学、非行、少年犯罪など「ゆとり教育」以前に手を打つべき課題が多くある。教員が素養を磨き、額に汗する姿を示さないと世間の賛同は得られない。

加えて、学校週5日制のもっと大きな問題は、子どもたちが毎週2日の休みをどう過ごすかである。一般には、せめて土曜日くらいは地域活動に子どもたちを参加させようとする取組みが広がるかも知れない。

しかし、重い障害を持つ子どもたちは、毎日スクールバスで校区を離れた養護学校に通っている。地域社会と没交渉の障害児が多いのである。このような子どもたちが地域の中で共に過ごせるのか、はなはだ疑問

だ。どこにも行き場のない障害児を抱え、保護者の負担のみが増加し、教員だけが楽になるということになりはしないか。私たちのボランティア活動も、こうした問題を考えなければなるまい。

#### 編集後記

広報誌『かたつむり21』も、第3号の発行となりました。SG活動の後方支援部隊として発足したこの会ですが、1年を経て今一度目標に向かって前進するためにも、この広報誌が遠方やお仕事の都合などで活動に参加できない方々との小さなかけ橋になればとの思いを新たにしております。そのためにも会員皆様のご協力を頂きたいと思っております。

近況報告、小さなエピソード、おもしろくてもおもしろくなくてもOK。いつでもOK。広報部員、またはお知り合いの会員までお知らせください。  
ヨロシク。  
(杉野雅子)